

第17回広島市立広島特別支援学校高等部卒業証書授与式

校長式辞

本校の正門にそびえる楠木が、私たちに春の訪れを知らせているようです。広島市立広島特別支援学校第17回卒業生として本校を巣立つ74名の皆さん、御卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

今日は、この体育館で行う最後の高等部卒業証書授与式です。記念すべきこの良き日に、広島市教育委員会委員長 石井眞治様をはじめ御来賓の皆様、並びに保護者の方々には、公私御多用のところ御臨席賜りまして、誠にありがとうございます。高いところから恐縮でございますが厚くお礼申し上げます。

ただいま、卒業生の皆さん一人一人に心を込めて、卒業証書をお渡ししました。皆さんが未来に向かって、立派に成長し続けていることをうれしく思いながらお渡ししました。3年前の本校高等部への入学から卒業の今日まで、皆さんは多くのことを学んで成長してきました。今、卒業証書授与式に臨んで、幾つかの思い出が浮かんできます。

その中から、三つ選んでお話しします。

一つ目、皆さんは、いろいろな体験をし、学習をしてきました。朝のランニングでは一生懸命走りました。作業学習での製品作り、清掃・接客の検定、文化祭での作品展示や接客、ステージ発表。大阪・京都への修学旅行。買い物などの校外学習。学んできたことを生かして、これからも何事にもチャレンジしてください。

二つ目、皆さんは、目標に向かって取り組んできました。中でも、進路学習や職場見学、職場実習では、卒業後の自立と社会参加に向け、一人一人が豊かな生活をするため、繰り返し学習してきました。職場実習では、慣れない仕事場でとても緊張して働きました。自分の夢に向かって取り組みました。これからも、夢を持って歩んでください。

三つ目、皆さんは、たくさんの友達と出会うことができました。生徒会で友達と力を合わせて挨拶運動を行いました。体育祭では、友達と励まし合いながら、リレーや組み体操をやりきりました。友達と語り合いながら給食を食べました。いつも友達が周りにいてくれました。これからも、本校で出会った友達との絆を大切にしてください。

皆さんは、本校で学び、たくさんの思い出を作り、生きる力を育んできました。幸せに生きて行ってください。いつまでも、いつまでも応援しています。

終わりに当たりまして、卒業生の保護者の方々には、この三年間、本校の教育に対しまして御理解と御協力くださり、誠にありがとうございました。全教職員と共に、心から感謝し、お礼申し上げます。これからも本校を見守っていただき、側面からの御協力をお願い申し上げます。

これで、私の式辞を終わります。

平成24年3月9日

広島市立広島特別支援学校長 中尾秀行

